

相模原市障害福祉事業所協会 加入申込書

1	事業所名	燈	
2	代表者職氏名	施設長 園長 <u>管理者</u> その他 ()	
3	事業所住所	〒252-0243 相模原市 中央区上溝1464-6	
4	事業所電話	042-704-9437	
5	事業所ファックス	042-704-9438	
6	E-mail	nakadate@marusaki.or.jp	
7	ホームページ	http://marusaki.or.jp	
8	設置運営主体	特定非営利活動法人まるさき福祉会	
	代表者職氏名	中館 渉	
9	事業種別・定員	生活介護	定員 (20) 現員 (18)
			定員 () 現員 ()
			定員 () 現員 ()
			定員 () 現員 ()
			定員 () 現員 ()
10	部課長代表 氏名	土井 真路	
11	支援職員代表 氏名	牛尾 卓未	
12	加入希望年月日	令和 5年 4月 20日～	
13	事業開始年月日 主な事業活動歴 加入理由 アピール その他	<p>令和4年4月1日に生活介護事業 燈(あかり)を開所。 定員20名で現在18名の方が利用されています(主に知的障害のある方を対象)</p> <p>令和5年度からは相模原中央支援学校の卒業生5名を受け入れ、今後も可能な限り受け入れができればと思っています。</p> <p>相模原市内で障害福祉の仕事をしていた経験のある職員が多く在職しているため市内の事業者様と情報共有・協力をし相模原市の福祉の向上にお役に立てればと考えております。</p>	

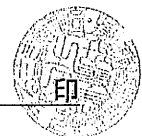
上記のとおり、相模原市障害福祉事業所協会への加入を申し込みます。

令和 5年 2月 1日

相模原市障害福祉事業所協会長 殿

事業所名 燈

代表者名 中館 渉



令和4年度 相模原市障害福祉事業所協会 事業報告

1. はじめに

令和4年度は、7～9月に感染力の強い新型コロナウイルス・オミクロン株 BA.5 系統により、第7波として爆発的な感染者数の増加を見た。市内でもクラスター感染が続発した。ワクチン4回目以降ではオミクロン株 BA.5 系統へも有効といわれる2価ワクチンの接種開始。感染時に発生する様々なかかり増し経費に対する補助金等の公的支援策もとられた。年末・年始には第8波としてインフルエンザとの同時流行を見たが、その後感染者数は減少に転じ、3/13からはマスク着用は基本的に自己判断、GW休暇明けの5/8からは感染症分類2類から季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げると1/27政府決定。福祉事業所としては期待と不安が入り混じるが、行事等での交流が以前のように再開できることを願いたい。

また、令和4年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻は全面戦争に発展し1年以上経過した現在も続いている。その結果、ガソリンや小麦粉をはじめとする原材料の急激な物価高騰と、それに由来する加工品や食品・農作物も価格高騰が避けられず、事業所運営にも大きなダメージを与えた。国や地方自体の支援策も講じられたが、物価高騰傾向は継続的である。

国連の障害者権利条約日本審査の評価結果、障害者総合支援法改正法3年後の見直し検討、神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例成立、意思決定支援の全県展開、相模原市人権条例制定への審議等々、障害福祉を取り巻く動きは急である。

当協会は、4月役員改選で新たな会長・代表総務及び新総務委員1名が選任され、事務局体制の検討、相模原市障害者地域作業所連絡協議会（障作連）との連携のための協議等の取組みを開始した。新たに3事業所の加入もあった。新型コロナの感染者激増の2回の波の中で、対面とオンラインを併用しながら役員会・定例会を予定通りに開催できたことは幸いであった。一方で委員会や研修会の開催が思うように進まない状況もあったが、オンラインながら事業種別ごとの部会や支援スタッフ部会の開催が実現したことを次へのステップとしたい。

2. 定例会・役員会等の開催状況

第1回役員会・4/5（火）16:00～18:00・ZOOMオンライン・7名出席～市事業団・鈴木常務理事就任あいさつ、4/19 総会・定例会へ向けて協議

第1回定例会・総会・4/19（火）15:00～17:00・ZOOMオンライン・35名出席～【総会】①新規加入事業所（りずむ、恵光園）の承認、②令和3年度事業・決算・監査報告、③令和4年度事業計画・予算、④役員改選（会長・今井氏、新役員・西村氏）、【定例会】①令和4年度役割分担、②新型コロナ関係、③情報共有～県立施設指定管理状況・当事者目線の障がい福祉将来展望検討委員会・当事者目線の障がい福祉推進条例骨子案、④その他～会員名簿・会費納入・自己紹介、⑤行政説明～福祉基盤課・仕明課長挨拶・令和4年度市障害福祉関係施策等の概要

第2回役員会・5/10（水）16:00～18:00・サエル相模原 第2会議室・8名出席～5/18定例会へ向けて協議

第2回定例会・5/18（水）15:00～17:00・松が丘園3階研修室・30名出席～新役員挨拶、出席者挨拶、①新型コロナワクチン障害者集団接種会場実績、②委員会～研修・人権・危機管理の3委員会及び政策に関しては役員会主導で、③部会～事業種別部会は年度内に1回は開催、④役割分担・協会選出委員確認（知的協会含む）、⑤協会事務局～将来松が丘園に設置打診中、⑥市要望事項とりまとめ、⑦情報提供～津久井やまゆり園等県立施設の指定管理応募状況と今後の予定、県障がい福祉推進条例パブコメ、県将来展望検討委員会報告書、中井やまゆり園利用者支援外部調査委員会、⑦その他～7/14市庁舎内自主製品販売会、知的協会関係

第3回役員会・6/28（火）16:00～18:00・松が丘園3階研修室・8名出席～7/6定例会へ向けて協議

第3回定例会・7/6（水）15:00～17:00・松が丘園3階研修室・25名出席～①基幹相談及びキーステーション令和2・3年度実績報告（玉手・田極氏）、②新型コロナ4回目ワクチン関係、③市の物価高騰実態調査、④役割分担～アンケートにより委員会メンバー決定（研修・人権・危機管理の3委員会、政策関係は役員会を中心に対応）・事業種別部会は今年度に1回は意見交換会開催・支援スタッフ部会という呼称で統一し9/29に部会開催、⑤協会事務局体制整備～事業団の鈴木常務理事と相談、⑥ありのまま舎の知的協会加入申込みについては過去の経過から不承認、⑦8/10定例会で県当事者目線の障害福祉推進条例（仮称）骨子案について県職員による説明・意見交換実施、⑧6/10県指定管理選考結果～津久井やまゆり園はかながわ共同会継続だが芹が谷やまゆり園は同愛会＋白根学園・7/26津久井やまゆり園事件追悼式、⑨7/14市庁舎販売会～7法人13事業所参加予定、⑩協会ZOOMアカウント貸出、⑪知的協会～知的協会関係（作文コンクール周知を市学校教育課へ依頼、やまゆり生活サポート協会研修補助の申請）他

第4回役員会・7/28（水）16:00～18:00・ZOOMオンライン・8名出席～8/10定例会へ向けて協議、新規加入希望

事業所「まーぶる」は事業実績1年未満のため12月以降に再審査とする

- 第4回定例会・8/10(水) 15:00~17:00・ZOOMオンライン・27名出席~①新型コロナ感染状況・ワクチン集団接種、②協会運営~委員会再編・政策委員会は役員会で・危機管理委員会新設・事業種別部会ごとの意見交換年度内に一度ずつ開催・9/29 支援スタッフ部会開催、③報告~7/14 市庁舎自主製品販売会・7/26 津久井やまゆり園事件追悼式他、④行政説明~神奈川県こども未来局・道躰参事官より「当事者目線の障害福祉推進条例素案」の説明・意見交換
- 第5回役員会・8/31(水) 15:00~17:00・ZOOMオンライン・7名出席~9/14 定例会へ向けて協議
- 第5回定例会・9/14(水) 15:00~17:00・ZOOMオンライン・30名出席~①AIG 保険代理店 JIC より説明、②新型コロナ関係~感染状況・ワクチン・協会保管衛生用品、③協会運営~委員会・部会・研修会、④6/13 厚労省社保審障害者部会報告書、⑤9/7 県議会~障害福祉推進条例、⑥中井やまゆり園報道・調査結果報告書、⑦市人権条例、⑧国連障害者権利条約日本審査、⑨ベースアップ等支援加算・最賃改定、⑩さがみ緑風園指定管理に関する9/5 記者発表、⑩知的協会~連合法人化進捗・9/28 飯野氏(みなと舎理事長) 日知協会長賞受賞祝会
- 第6回役員会・10/4(火) 16:00~17:00・松が丘園3階研修室・8名出席~10/19 定例会へ向けて協議
- 第6回定例会・10/19(水) 14:00~17:00・松が丘園3階研修室・28名出席~※14:00~14:45 定例会前に各委員会開催、①株リノオミ担当者より e ランキングシステム等説明、②新型コロナ~ワクチン状況・かかり増し経費補助・抗原検査キットによる従事者集中検査、③物価高騰補助事業、④協会運営~市障作連連携協議・部会毎の意見交換と要望集約・研修会企画、⑤今後の行政説明・対応、⑥情報共有~国連障害者権利条約日本審査勧告・県条例・市人権条例・中井やまゆり園関連・市内就労継続系事業所令和3年度工賃実績・11/6 相模大野アートクラフト秋の市、⑦報告~委員会報告・9/29 支援スタッフ部会・れんきょうアンケート、⑧行政説明~仕明福祉基盤課長・有本新型コロナワクチン接種推進課長・福祉基盤課/関口副主幹/大野氏/伊藤氏~障害者接種会場のワクチン接種状況・物価高騰に対する市支援金補助基準及び新型コロナかかり増し経費補助金申請の留意点・10月以降の市単加算見直しの件
- 第7回役員会・11/30(水) 16:00~18:45・松が丘園3階研修室・8名出席~市事業団・二宮事務局長より説明事項有り、12/7 定例会へ向けて協議
- 第7回定例会・12/7(水) 15:00~17:00・ZOOMオンライン・25名出席~①株ジャストオトリソング担当者より福祉車両リースや保険について説明、②行政説明~新型コロナ集中的検査に係る抗原検査キットの配布について(福祉基盤課・石澤氏)、③新型コロナ関係~市よりマスク手袋配布・抗原検査キット対応・ワクチン状況、④協会運営~市障作連との連携(12/14 市障作連の前澤会長等と協議予定)・事業種別部会をリモートで近々に開催し市要望事項等も含めて協議・基本資料とするため市要望事項アンケート配布12/19 まで回答請う・市事業団福祉研修センター意見交換会 1/30(藤野さつき学園長屋氏とパステルパレット鈴木氏出席予定・12/21 研修委員会企画の実践発表会は新型コロナのため中止)・12/19 及び12/20 市庁舎自主製品販売会、⑤市営公園へのフードトラック出店記事から会員事業所より福祉事業所出店について協会として要望依頼、⑥情報提供~市障害福祉施策推進協議会委員選任(今井氏)・県障害福祉推進条例みんなで読める版・1/22 津久井やまゆり園での県議会報告会状況・12/11 みんなで学ぶ共生社会実践セミナー・12/18 当事者目線の障がい福祉推進シンポジウム・県意思決定支援グループが県内入所施設を訪問し県版意思決定支援ガイドラインについて説明及び意見聴取・市協会としての中井やまゆり園視察は新型コロナのため延期、⑦報告~知的協会関係(11/26 関東地区種別代表者会議山梨大会はオンライン開催で会長・総務委員長・各部会長出席・連合法人化進捗状況・60周年記念誌への写真提供を)・さがみ緑風園の指定管理手続き状況(令和5年度は県直営・その後は検討中)
- 第8回役員会・1/10(火) 16:00~18:00・松が丘園3階研修室・8名出席~2/1 定例会へ向けて協議
- 第8回定例会・2/1(水) 15:00~17:00・ZOOMオンライン・32名出席~①市内特別支援学校等進路指導担当教諭より令和4年度在籍者数及び高等部進路調査結果について説明有り(中央支援学校進路担当・猪刈教諭)・医療的ケアが必要な重心生徒の受入先が見つからない・計画相談を引き受けてくれる相談支援事業所が少ない(キャパ超過)との指摘有り、②行政説明~第2次高齢・障害者施設等物価高騰対応支援事業について(福祉基盤課・石澤氏)、③新型コロナ~感染状況・年末年始の抗原検査キットによる職員集中検査状況、④協会運営~新規加入希望まーぶるの承認(総会扱い)・市要望事項アンケート集約・事業種別部会開催・障作連との連携進捗・令和5年度事業計画/予算/年間予定・2/22 オンライン研修会、⑤情報~3/25 南区交流ラウンジパフォーマンス参加団体募集・市障害福祉計画等策定のためのヒアリング調査・2/7 重層的支援体制整備モデル事業研修会・北海道(福)あすなる福祉会新聞報道、⑥報告~12/19・12/20 市庁舎販売会・1/30 事業団福祉研修センター意見交換会・1/14 れんきょう主催副施策懇談会・1/22 新成人を祝う会・知的協会関係
- 第9回役員会・2/14(火) 16:00~18:00・松が丘園3階研修室~3/1 定例会へ向けて協議
- 第9回定例会・3/1(水) 15:00~17:00・ZOOMオンライン・28名出席~①新規加入「まーぶる」青木氏挨拶 ②

新型コロナ～規制緩和・2類から5類へ・マスク着用判断・ワクチン、③協会運営～県条例説明意見交換会（4/19 総会時）・市要望事項とりまとめ（各部会検討内容含む）・令和4年度決算・令和5年度事業計画・予算、③情報～令和5年度よりの障害者雇用率設定の件・マイナカードと健康保険証の一体化の件・2/22 研修会報告・県「障がい児者のための制度案内」の当協会の記載内容変更、④予定～3/3 自立支援協議会全体会・3/22 市障害福祉施策推進協議会、⑤知的関係～2/1 連合会一般社団法人登記完了・県社協施設協議会委員推薦（玉井氏）

3. 委員会

※10/19（水）第6回定例会前に対面で各委員会開催

- ①研修委員会～研修会アンケート実施、12/21 実践発表会を予定していたが新型コロナ第8波の影響で中止、2/22（水）16:00～18:00「心理職って何するの？」津久井やまゆり園地域サービス課・心理担当の永井真司氏より入所施設における心理職の役割りと実情について・15施設20名参加
- ②人権委員会～委員が集まらなかったため検討できず。
- ③危機管理委員会～委員長選任（永井氏）・新型コロナ感染者・協会保管感染防護用品取扱い・業務継続計画・新型コロナ第8波への備え・災害発生時の事業所間連携及び協力

4. 部会

- ①支援スタッフ部会～9/29（木）16:00～18:00 ZOOMによるオンライン開催、参加者14施設20名
・自己紹介、意見交換～コロナ感染拡大対応・中井やまゆり園報道・県条例案・静岡通園バス置き去り事件・
国連障害者権利条約日本審査結果等について、今後の支援スタッフ部会活動について
- ②障害者支援施設等部会～12/23（金）15:00～17:00 ZOOMオンライン開催
- ③日中活動支援部会～2/14（火）15:00～16:30 ZOOMオンライン開催
- ④生産活動・就労支援部会～2/7（火）15:00～16:30 ZOOMオンライン開催
- ⑤相談・地域支援部会～2/21（火）15:00～16:30 ZOOMオンライン開催

5. 新規加入事業所

- ・4/1 りずむ（生活介護・NPO法人福祉協会しろやま）
- ・4/1 恵光園（就継B・NPO法人NEO）
- ・2/1 まーぶる（就継B・就労移行・一般社団マーブル）

6. 後援

- ①10/31・11/29・12/16・1/20・社会福祉法人相模原市社会福祉事業団・基幹相談支援センター主催・虐待防止・権利擁護シリーズ研修会
- ②11/24～28「さがみハート展」実行委員会主催・「さがみハート展」・相模原市民ギャラリー
- ③1/22 新成人を応援する会主催・「第9回新成人を祝う会」・けやき会館大樹の間

7. その他の活動

- ・7/14（木）市庁舎1階・福祉事業所自主製品販売会～7法人13事業所参加
- ・11/6（日）相模大野アートクラフト市（福祉事業所自主製品販売会）南区地域福祉交流ラウンジ前通路
～会員7事業所及び障作連2事業所出店
- ・12/19（月）及び20日（火）市庁舎1階・福祉事業所自主製品販売会～8法人16事業所参加
- ・1/14（土）れんきょう主催・福祉施策懇談会（あじさい会館6階）～会長出席
- ・1/22（日）新成人を祝う会主催・第9回障がいのある方のための「新成人を祝う会」（けやき会館5階大樹の間）～会長参列（祝金持参）
- ・3/25（土）南区交流ラウンジ主催「福祉まつり」

8. 知的協会関係

- ・09/28（水）飯野氏（みなと舎理事長）日知協会会長賞受賞祝会、桜木町ワシントンホテル
- ・11/25（金）9:30～16:30 関東地区知的障害関係施設種別代表者会議・山梨大会 ZOOMオンライン
テーマ「障害者総合支援法改正法施行3年後の見直しに向けて～今考えるべきこと」
会長・総務委員長・7部会長出席
- ・1/30（月）日本知的障害者福祉協会と関東地区知的障害者福祉協会とのオンライン意見交換会～会長・総務委員長参加
- ・2/1（水）付、神奈川県知的障害施設団体連合会の一般社団法人登記完了

相模原市障害福祉事業所協会

令和4年度収支決算報告(案)

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考
前年度繰越金	526,235	526,235	0	
会 費	112,000	112,000	0	
手数料収入	200,000	314,308	114,308	AIG損保(横浜銀行通帳)
雑 収 入	10	12	2	(利子)
合 計	838,245	952,555	114,310	

2. 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考
会 議 費	40,000	16,200	-23,800	会議賄費 会場借用料
事 務 費	290,000	70,343	-219,657	HP保守料33,000 封入作業8,488 ZOOM費用27,500 振込手数料825 郵送料420 封筒110
事 業 費	120,000	10,000	-110,000	講師謝礼10,000
予 備 費	388,245	10,000	-378,245	新成人を祝う会10,000
合 計	838,245	106,543	-731,702	

収支差額

(収入) 952,555円 — (支出) 106,543円 = 846,012円

846,012円 を令和5年度に繰越

(横浜銀行預金円)

3. 特別会計

前年度繰越金 1,090,454 円(郵便局440,454、横浜銀行650,000)

繰入金 円(横浜銀行)

今年度預金利息 4 円

ゆうちょ預金残高 440,458 円

横浜銀行預金 650,000 円

合計 1,090,458 円を令和5年度に繰越

会計監査報告

1、 会計監査概要

私は、令和4年度収支決算報告書をはじめとして、その他関連帳簿を監査し、取引の検証および残額の確認を行ないました。

2、 監査結果


令和4年度における収支の状況は、適切に執行されていることを認めます。

以上のとおり、監査結果として報告いたします。

令和 5年 3月 3 / 日

相模原市障害福祉事業所協会
監査

さがみ緑風園

久末竜人 

令和4年度 相模原市知的障害福祉協会 収支決算書(案)

【一般会計】

1. 収入の部

2023/3/31

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
1 前年度繰越金	624,629	624,629	0	預金¥148,235
2 連合会構成団体事業費収入	465,100	463,121	-1,979	県施設団体連合会¥463,121
3 助成金収入	100,000	100,000	0	やまゆり生活サポート協会研修助成金
4 特別会計繰入金	0	0	0	
5 雑収入	20	17	-3	利息¥17
合 計	1,189,749	1,187,767	-1,982	

2. 支出の部

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
1 事務費	388,000	60,220	-327,780	
旅費交通費	40,000	0	-40,000	
研修費	150,000	27,000	-123,000	関東地区種別代表者会参加費
消耗品費	100,000	0	-100,000	
印刷製本費	25,000	0	-25,000	
通信運搬費	10,000	0	-10,000	
会議費	10,000	0	-10,000	
手数料	10,000	220	-9,780	振込手数料¥220
保守料	33,000	33,000	0	HP保守料¥33,000
雑費	10,000	0	-10,000	
2 事業費等	230,000	10,000	-220,000	
政策委員会	10,000	0	-10,000	
人権委員会	10,000	0	-10,000	
研修委員会	150,000	0	-150,000	
障害者支援施設部会	10,000	0	-10,000	
日中活動支援部会	10,000	0	-10,000	
生産活動・就労支援部会	10,000	10,000	0	
地域支援部会	10,000	0	-10,000	
相談支援部会	10,000	0	-10,000	
部課長会・支援スタッフ会	10,000	0	-10,000	
3 市障害福祉事業所協会会費	48,000	48,000	0	2,000円×24事業所
4 予備費	0	0	0	
5 特別会計繰出金	0	0	0	
6 次年度繰越金	523,749	1,069,547	545,798	普通預金
合 計	1,189,749	1,187,767	-1,982	

【特別会計(積立金)】

2023/3/31

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
1 前年度繰越金	1,420,766	1,420,766	0	積立金
2 収入の部	0	0	0	
3 支出の部	0	0	0	
合 計	1,420,766	1,420,766	0	普通預金

会計監査報告書

1. 会計監査概要

私は、令和5年4月6日(木) 11:00 ~ 11:30、たんぽぽの家において、令和4年度収支決算書をはじめとして、その他関連帳簿を監査し、取引の検証及び残額の確認を行いました。

2. 監査結果

令和4年度における収支の状況は、適切に執行されていることを認めます。

以上のとおり、監査結果として報告いたします。

令和5年4月6日

相模原市知的障害福祉協会 監査
社会福祉法人相模福祉村 たんぽぽの家

赤間芳子



令和5年度 相模原市障害福祉事業所協会 事業計画(案)

1. 事業方針～本会は、会員相互の連携と共通課題について研究、協議並びに情報交換を行い、必要な対策の立案とノーマライゼーションの推進及び地域福祉の向上を図ることを目的とする。

2. 重点目標及び活動

- ① 相模原市障害福祉推進のための協議、要望事項の取りまとめ、行政との定期的情報共有・意見交換。令和6年度へ向けての要望事項は令和5年7月市へ提出を目指し、その他必要な案件については随時要望書を提出する。定例会での行政説明の定着。市長懇談会開催の折衝。
- ② 相模原市障害福祉施策の課題である、相談支援体制、地域生活支援拠点事業、医療的ケアが必要な方へのサービス等の整備・充実に関する情報共有及び意見交換。令和6年4月改定施行予定の「共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プラン」への意見具申。以上を念頭に置き、障害者自立支援協議会をはじめとし、市社会福祉審議会、市障害施策推進協議会他、各種の市主催協議会・委員会等に委員を派遣し参画する。
- ③ 障害者総合支援法改正及び令和6年度報酬改定等、国の障害福祉施策等に関する情報収集・共有。
- ④ 障害者虐待防止法、障害者差別解消法、国連障害者権利条約、令和5年4月施行の神奈川県「当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」、令和5年度成立予定の相模原市人権条例等に関する情報収集・共有及び協議を進める。
- ⑤ 新型コロナウイルス等感染症流行に関する現状把握、情報収集・共有、集団感染発生時の協会としての対応方法の検討、行政対応。売上減少への対策として、自主製品販売会の定期開催調整。
- ⑥ 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会（市障作連）との協議を重ね連携方法について令和5年度中に具体化、令和6年度からの共同運営を視野に入れて協議を進める。市内特別支援学校進路担当教諭との情報交換会（2月）、市強度行動障害支援者養成研修等への協力、相模原福祉オンブズマンネットワーク当事者交流会の応援。「さがみハート展」「新成人を祝う会」他各種イベントや研修会の後援及び協力、れんきょう主催「福祉施策懇談会」への参加。その他市内関係団体との連携を深める。
- ⑦ 利用者権利擁護・虐待防止、意思決定支援等に関する情報収集・共有、協議、研修等を通じて、支援の質向上に寄与する。
- ⑧ 人材確保・育成に関する具体的対応及び関係機関（特に行政や社協）との連携。職員処遇改善・働き方改革・同一労働同一賃金等の情報共有と対応。
- ⑨ 危機管理対策（自然災害、感染症等）に関する情報共有、行政との連携、地域連携（市内・県内・県外）、災害対策基金、事業継続計画（BCP）策定のための情報共有。
- ⑩ 事業所協会組織・運営～協会ホームページ有効活用。状況に応じて、対面会議とオンライン会議が併用可能な体制を整える。協会への加入促進。協会としての法律・労働等に関する専門家による一次相談体制構築の可能性について情報収集する。定期的な3委員会・支援スタッフ部会開催、役員会での政策検討を推進する。さらに事業種別部会の協議を少なくとも年度内に1回以上開催。神奈川県知的障害施設団体連合会を構成する四県市協会の一つである「相模原市知的障害福祉協会」の「相模原市障害福祉事業所協会」における位置付けについて協議する。

3. 定例会等（新型コロナの状況によってはZOOMによるオンライン会議）

項 目	開催月日（予定）	会 場	内 容
令和5年度総会 第1回定例会	04月19日（水）	松が丘園 or ZOOM	新規加入事業所承認、4年度事業・決算・監査、5年度事業・予算・委員会・部会、行政説明・令和5年度市障害福祉施策等概要、他、※総会前に県障害福祉推進条例・意思決定支援全県展開の行政説明と意見交換会予定

第2回定例会	05月17日(水)	松が丘園 or ZOOM	委員会打合1、市要望事項協議1、新型コロナ規制緩和後状況確認、国県市情報、会費納入、行政説明、他
第3回定例会	07月05日(水)	松が丘園 or ZOOM	委員会打合2、市要望事項協議2、自立支援協議会、研修会企画、国県市情報、行政説明、他 ※情報交換会
第4回定例会	08月09日(水)	松が丘園 or ZOOM	委員会打合3、障作連連携進捗、各委員会より、国県市情報、市人権条例、行政説明、全体研修会、他
第5回定例会	09月20日(水)	松が丘園 or ZOOM	部会検討、災害対策関係(BCP)、人材確保・育成、自立支援協議会、行政説明、他
第6回定例会	10月18日(水)	松が丘園 or ZOOM	部会意見集約、市要望事項回答、意思決定支援進捗、国県市情報、行政説明、他
第7回定例会	12月06日(水)	松が丘園 or ZOOM	部会意見集約、市要望事項等アンケート、障作連連携進捗、行政説明、国制度等全体研修会、他 ※情報交換会
第8回定例会	02月07日(水)	松が丘園 or ZOOM	市内特別支援学校等進路担当教諭との意見交換会、新年度計画協議、役員改選案、障作連連携体制確定、他
第9回定例会	03月06日(水)	松が丘園 or ZOOM	役員改選案、6年度事業計画・予算案、5年度事業報告・決算案、役割分担案、行政説明、他

4. 役員会

4/4、5/9、6/23、7/25、9/5、10/3、11/21、1/23、2/20、に松が丘園にて開催予定。他必要に応じ随時。障害福祉政策に関する内容については役員会で協議の上、定例会等で全会員に諮る。新規加入希望申込があった際は、役員会にて条件審査し、総会（又は定例会の総会扱い）において承認を得る。

5. 委員会～5月以降の定例会前に開催、その他随時（オンライン含む）

- ① 研修委員会～障害福祉サービス事業所の支援員・世話人等の支援スキル向上や権利擁護意識の高揚を図る。研修会は対面だけでなくオンライン等でも対応できるよう準備する
- ② 人権委員会～虐待防止・権利擁護に関する現状・課題・取組みについて意見・情報交換を行なう。意思決定支援に関する情報収集に努める。研修会等の企画も検討する。
- ③ 危機管理委員会～風水害・土砂災害・感染症への対策について、情報収集・課題検討を行う。令和5年度中に義務付けられている事業継続計画(BCP)策定に関する情報提供。福祉避難所に関する検討。
- ④ 政策委員会（役員会で対応）～改定総合支援法3年後の見直し、厚労省社会保障審議会障害者部会審議内容、相模原市障害福祉施策、相模原市障害者自立支援協議会、国連の障害者権利条約日本審査結果、神奈川県障害福祉推進条例、相模原市人権条例等に関する情報収集・提供に努める。相模原市への要望事項のとりまとめを行う。市長懇談会について打診する。

6. 部会～事業種別ごとの部会を①以外は最低年度内に1回は開催、その他随時（オンライン含む）

- ① 支援スタッフ部会～支援現場スタッフの情報・意見交換会及び研修会を実施する。各事業所の支援スタッフ間の交流・連携を図る。研修会を含めて、年3回程度の開催を想定する。
- ② 障害者支援施設等部会～知的・身体・重心・児童等の入所系施設の現状・課題・要望について意見・情報交換を行なう。神奈川県の意思決定支援全県展開について対応、協力する。
- ③ 日中活動支援部会～主に生活介護事業の現状・課題・要望等について意見・情報効果を行う。生活介護における日中活動支援の在り方について検討する。
- ④ 生産活動・就労支援部会～各事業所間の課題共有に努める。令和5年度重点課題（要望）として、優先調達・官公需の積極的取組み、販売機会の提供及び創出、市交通費助成申請処理簡素化検討、等を進める。また、事業所協会と障作連との連携過程で「バオバブ」運営関連取組みの必要があ

れば検討する。

- ⑤相談・地域支援部会～各相談支援事業所の実情・課題・要望等について意見・情報交換を行う。グループホームの現状・課題・要望等について意見・情報交換を行う。その他、相模原市地域支援に関連する現状・課題・要望について意見・情報交換を行う。

7. その他

- 4月～令和4年度決算監事監査、会員事業所の各種異動情報確認⇒名簿修正
役割分担再確認、各種協会選出委員の調整、会費徴収周知
相模原市福祉基盤課・集団指導～動画視聴。
- 5月～会費徴収、各委員会の計画具体化、障作連との協議1、市障害児者福祉団体調査票提出、
新成人を祝う会後援依頼回答、
- 6月～市社会福祉法人説明会（福祉基盤課）、下旬・市障害者自立支援協議会全体会1、
6/24（土）13:30～17:00 市事業団主催映画会及びトークイベント後援・あじさい会館
- 7月～市要望事項提出、中旬・市庁舎内自主製品販売会1、7/26？津久井やまゆり園事件追悼式、
障作連との協議2
- 8月～さがみハート展後援依頼回答、市事業団「障害者虐待防止・権利擁護研修」後援依頼、
「新成人を祝う会」対象者調査協力回答、10月最低賃金改定情報共有、
- 9月～障作連との協議3、れんきょう福祉施策等に関するアンケート回答
- 10月～上旬・市障害者自立支援協議会全体会2
- 11月～上旬・相模大野アートクラフト市（南区）、障作連との協議4、下旬・さがみハート展
- 12月～中旬・市庁舎内自主製品販売会2、
- 1月～中旬・れんきょう主催市福祉施策懇談会、下旬・新成人を祝う会、
下旬・市事業団福祉研修センター意見交換会
- 2月～障作連との協議5
- 3月～上旬・市障害者自立支援協議会全体会3

8. 知的協会関係

- 04/27（木）関東地区知的障害者福祉協会会長・事務局長会議・浜松町
- 06/30（金）神奈川県知的障害施設団体連合会法人（一般社団）設立総会～オンライン
- 07/21（金）やまゆりの日講演会・神奈川県民サポートセンターホール
- 07/13（木）～14（金）全国知的障害関係施設長等会議・東京国際フォーラム
- 08/03（木）～04（金）関東地区種別代表者会議・長野大会・ホテルメトロポリタン長野
- 10/03（火）～04（水）全国グループホーム等研修会・広島県
- 11/10（金）連合会60周年・法人化記念祝賀会、60周年記念誌発行
- 11/16（木）～17（金）全国知的障害福祉関係職員研究大会・山梨県ハイランドリゾートホテル&スパ
- 11/28（木）～29（金）全国児童発達支援施設運営協議会・愛知県
- 12/07（木）～08（金）日中活動支援部会全国大会・大阪府
- 01/18（木）～19（金）障害者支援施設部会全国大会・沖縄県
- ※県連合会総務委員会～4/7、6/2、10/6、2/2 ※県連合会理事会～4/28、6/16、10/27、2/16

相模原市障害福祉事業所協会

令和5年度予算(案)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	前年度予算額 (A)	予算額 (B)	増減 (B)-(A)	備考
前年度繰越金	526,235	846,012	319,777	
会費	112,000	116,000	4,000	2,000円×58事業所
手数料収入	200,000	200,000	0	AIG損保手数料(横浜銀行)
雑収入	10	10	0	利息(横浜銀行)
合計	838,245	1,162,022	323,777	

2. 支出の部

(単位:円)

科目	前年度予算額 (A)	予算額 (B)	増減 (B)-(A)	備考
会議費	40,000	40,000	0	定例会に係る会議室料, 賄等
事務費	290,000	290,000	0	振込手数料等10,000 HP保守料33,000 ZOOM費用27,000 オンライン用機材等200,000 旅費交通費20,000
事業費	120,000	120,000	0	講演等に係る会場料, 講師謝礼等
予備費	388,245	712,022	323,777	
合計	838,245	1,162,022	323,777	

3. 特別会計

1,090,458円 (ゆうちょ銀行440,458 横浜銀行650,000)

令和5年4月1日

令和5年度 相模原市知的障害福祉協会 収支予算書(案)

【一般会計】

1. 収入の部

2023/4/1

科 目	前年度予算額	予算額	増 減	備 考
1 前年度繰越金	624,629	1,069,547	444,918	
2 連合会構成団体事業費収入	465,100	465,100	0	連合会より事業費
3 助成金収入	100,000	100,000	0	やまゆり生活サポート協会研修補助金
4 特別会計繰入金	0	0	0	
5 雑収入	20	20	0	利息
合 計	1,189,749	1,634,667	444,918	

2. 支出の部

科 目	前年度予算額	予算額	増 減	備 考
1 事務費	388,000	388,000	0	
旅費交通費	40,000	40,000	0	
研修費	150,000	150,000	0	関プロ参加費等
消耗品費	100,000	100,000	0	オンライン会議用機材等
印刷製本費	25,000	25,000	0	会議資料等
通信運搬費	10,000	10,000	0	
会議費	10,000	10,000	0	
手数料	10,000	10,000	0	
保守料	33,000	33,000	0	HP保守料
雑費	10,000	10,000	0	
2 事業費等	230,000	230,000	0	
政策委員会	10,000	10,000	0	
人権委員会	10,000	10,000	0	
研修委員会	150,000	150,000	0	
障害者支援施設部会	10,000	10,000	0	
日中活動支援部会	10,000	10,000	0	
生産活動・就労支援部会	10,000	10,000	0	
地域支援部会	10,000	10,000	0	
相談支援部会	10,000	10,000	0	
部課長会・支援スタッフ会	10,000	10,000	0	
3 市障害福祉事業所協会会費	48,000	46,000	-2,000	23施設×2,000円、事業所協会へ
4 予備費	0	0	0	
5 特別会計繰出金	0	0	0	
6 繰越金	523,749	970,667	446,918	
合 計	1,189,749	1,634,667	444,918	

【特別会計(積立金)】

2023/4/1

科 目	前年度予算額	予算額	増 減	備 考
1 前年度繰越金	1,420,766	1,420,766	0	積立金
2 収入の部	0	0	0	
3 支出の部	0	0	0	一般会計へ繰出
合 計	1,420,766	1,420,766	0	

令和5年度 相模原市障害福祉事業所協会役員

※任期：令和4年度～令和5年度

	役 職	氏 名	所 属
1	会長	今井康雅	くりのみ学園
2	副会長	谷澤藤男	虹の家
3	副会長	中谷正代	かわせみ会
4	代表総務	矢嶋正貴	ワークショップ・フレンド
5	会計	玉井美紀	銀河
6	総務	永井清光	津久井やまゆり園
7	総務	西村三郎	やまびこ工房
8	総務	鈴木康弘	パステルパレット
9	監査	弘末竜久	さがみ緑風園
10	相談役	赤間芳子	相模福祉村
11	〃	松屋直人	すずらんの会

令和5年度 協会選出委員等

2023. 4. 19 現在

○相模原市関連

- 相模原市障害者自立支援協議会～今井康雅、永井清光、西村三郎（R5. 4. 1～R7. 3. 31）
- 相模原市社会福祉審議会～中谷正代
- 相模原市地域福祉推進協議会～中谷正代
- 相模原市障害者施策推進協議会～今井康雅
- 相模原市障害者差別解消支援地域協議会～谷澤藤男
- 相模原市福祉のまちづくり推進協議会・南区地域福祉交流ラウンジ運営委員会～矢嶋正貴
- 相模原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会～玉井美紀
- 相模原市歯科保健事業推進審議会～今井康雅

○関係団体関連

- 相模原市社会福祉協議会 障がい福祉部会～部会長 赤間芳子
- 相模原市社会福祉協議会 権利擁護事業審査会委員～西村三郎
- 社会福祉法人相模原市社会福祉事業団評議員～今井康雅
- 社会福祉法人相模原市社会福祉事業団福祉研修センター意見交換会～長屋 恵、鈴木康弘
- 相模原福祉オンブズマンネットワーク（ネットさがみはら）
～運営委員長 西村三郎、運営副委員長 佐藤孝明

令和5年度 相模原市障害福祉事業所協会 役割分担（案）

区分	内容	構成員・委員長等
委員 会	(政策委員会)	国・県・市制度施策対応、市への要望書、自立支援協議会、他 ⇒ 役員会で対応
	人権委員会	権利擁護、虐待防止、差別解消、ネットさがみはら連携、他 西村三郎、阿部由美子、下山正明、遠藤恵子、高橋晴美、川畑直美、及川 博、高橋 努、細田のぞみ（鎌田かおり）、佐々木健吾、竹中 洋、由田裕子、新浜直美、坪内友美、横山良子、青柳真一、境 博仁（大谷直子）、神沼由紀夫、中谷正代、
	研修委員会	支援相談技術・国制度・権利擁護等研修会企画、利用者参加型行事、他 玉井美紀、長沢伸孝、池田宏子、五十嵐瑠璃、畑山伸也、佐々木雅子、佐藤祥子、弘末竜久、大和 巖、長屋 恵、鈴木拓也、森川悦子、綱田富士恵、小山 創、早津宗彦（飯塚英宏）、南場泰子、青木一益（市川弥生）、矢嶋正貴
	危機管理委員会	新型コロナ等感染症対策、災害対策、福祉避難所、業務継続計画、他 永井清光、赤間源太郎、江嶋直樹、山田 努、高橋吉巳、山崎 顕、鈴木康弘、佐藤孝明、赤間由美子（河内一茂）、村上研一（高橋博行）、光井祐人、室山亜希子、大川達雄、平山正文、今井康雅、真田俊介、長谷川紀子、中館 渉
部 会	障害者支援施設等部会	知的・身体・重心・児童等の入所系施設 永井清光、赤間源太郎、下山正明、山田 努、真田俊介、佐藤孝明、長屋 恵、今井康雅、弘末竜久、細田めぐみ（鎌田かおり）、村上研一（高橋博行）、他
	日中活動支援部会	知的・身体・精神・重心・児童等の生活介護を中心とした日中活動系事業所 鈴木康弘、畑山伸也、高橋吉巳、五十嵐瑠璃、高橋晴美、山崎 顕、高橋 努、阿部由美子、青柳真一、平山正文、神沼由紀夫、佐藤祥子、大和 巖、竹中 洋、江嶋直樹、長谷川紀子、由田祐子、室山亜希子、綱田富士恵、光井裕人、中館 渉、他
	生産活動・就労支援部会	知的・身体・精神等の主に就継B・就労移行事業所 佐々木雅子、矢嶋正貴、池田宏子、川畑直美、長沢伸孝、佐々木健吾、中谷正代、新濱直美、鈴木拓也、早津宗彦（飯塚俊司）、大川達雄、境 博仁（大谷直子）青木一益（市川弥生）、他
	相談・地域支援部会	知的・身体・精神・児童等の主に相談・GH・居宅介護等事業所 玉井美紀、西村三郎、遠藤恵子、及川 博、森川悦子、赤間由美子（河内一茂）、坪内友美、小山 創、横山良子、南場泰子、他
	支援職員部会	直接支援職員連携・研修、勉強会、情報交換等 ◎鶴岡秀樹（津久井やまゆり園） 他各事業所支援員等

◎は委員長・部会長

令和5年度 相模原市知的障害福祉協会 役員

任期：令和4年度～令和5年度

役員区分	氏名(所属)	県知的障害施設団体連合会	
会長	今井康雅(くりのみ学園)	理事	副会長
副会長	永井清光(津久井やまゆり園)	理事	防災対策委員
総務委員長	矢嶋正貴(ワークショップ・フレンド)	理事	総務委員
総務	西村三郎(やまびこ工房)		
監事	赤間芳子(相模福祉村)		

- やまゆり生活サポート協会理事～今井康雅
- // 事業推進委員～永井真司(津久井やまゆり園地域課)
- 県社協障害福祉施設協議会委員～玉井美紀(銀河)
- 連合会60周年記念誌編集委員～今井康雅
- 永野祐司(津久井やまゆり園地域支援部長)
- 同上 実行委員～()、()

令和5年度 相模原市知的障害福祉協会 役割分担(案)

(1) 委員会

委員会区分	委員長	委員会構成員
政策委員会	今井康雅 (くりのみ学園)	赤間源太郎、矢嶋正貴、永井清光、真田俊介、山田 努、 赤間由美子(河内一茂)、
人権委員会	西村三郎 (やまびこ工房)	佐々木雅子、下山正明(谷澤藤男)、佐藤孝明、 神沼由紀夫、阿部由美子、高橋 努
研修委員会	長沢伸孝 (松が丘園)	長屋 恵、大和 巖、池田宏子、玉井美紀、森川悦子、 山崎 顕、長谷川紀子

(2) 部会

部会区分	部会長	部会構成員
障害者支援施設部会	永井清光 (津久井やまゆり園)	赤間源太郎、下山正明(谷澤藤男)、佐藤孝明、 永井清光、真田俊介、長屋 恵、今井康雅
日中活動支援部会	() ()	神沼由紀夫、山崎 顕、高橋 努、大和 巖、 阿部由美子、森川悦子、長谷川紀子 他生活介護事業所
生産活動・ 就労支援部会	佐々木雅子 (ワークショップ・SUN)	長沢伸孝、佐々木雅子、池田宏子 他就労移行・就労継続支援事業所
地域支援部会	河内一茂(赤間由美子) (慈仁舎)	他ホーム・居宅介護等事業所
相談支援部会	玉井美紀 (銀河)	西村三郎、他相談支援事業所
児童発達支援部会	山田 努 (相模はやぶさ学園)	他、児童事業所

(3) 支援スタッフ部会

区分	部会長	構 成 員
支援スタッフ部会	鶴岡秀樹 (津久井やまゆり園)	加入施設支援スタッフ代表

令和5年4月7日

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部
障害サービス課長 高橋朋生様

神奈川県知的障害施設団体連合会
会長 出縄 守英
(公印略)

国保連の請求システム変更に伴う緊急要望につきまして

常日頃より障がい福祉行政の推進につきまして、ご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、このたび神奈川県国民健康保険団体連合会より「かながわ自立支援給付費等支払システム（以下：新かながわシステム）」の令和5年度よりの更新、導入につきまして県下施設・事業所に通知があったところです。その内容は、神奈川県「地域生活支援事業」「県・市町村単独事業」の請求データについては、新かながわシステムのみでしか出力できないというものでした。請求事務を担当する現場では、その運用に向けて混乱、不具合が生じている状況もあり、以下の通り緊急要望いたします。

要望事項

- 1 令和5年4月実績分(5月請求分)から運用開始となっておりますが、大きな変更のため混乱が収まるまでは、しばらく従前のシステムを使用できるように、神奈川県として働きかけをお願いいたします。
- 2 県下施設・事業所の多数が、各民間ソフト会社の開発した記録請求ソフトを相当のコストをかけて導入し、現場職員の省力化と、業務の効率化を行っております。ソフトの導入により、基本的に1回の支援記録の入力で国保連請求事務と市単加算等のかながわシステムの請求CSV情報が出力できるようになっており、請求後の手続きとなる自己負担金のサービス利用料の領収書、請求書、代理受領書までの帳票も自動的に作成できるシステムとなっております。このたびの変更は、このソフトの一連の手続きが出来なくなることになります。ソフトが使用出来ないと、ほぼ同じ情報を1名の利用者につき2回別々に入力する事務作業量の負担と、手作業上のミスによる過誤請求の多発も想定され、施設・事業所によっては多数の利用者に及ぶ場合もあるため、人件費(時間外勤務手当含む)の増加も予測されます。このような法人、事業所が相当のコストをかけて業務省力化、運営効率化、ICT化に取り組んでいる努力を無下にするような、時代に逆行する一方的な変更を行うことは理解が得られません。よって、再度検討していただき、従前どおり各民間ソフト会社が一連のシステムを構築できるように必要な情報開示を求めます。神奈川県としての働きかけをお願いいたします。

以上

神奈川県知的障害施設団体連合会
神奈川県横浜市神奈川区反町3-17-2
神奈川県社会福祉センター5階

TEL : 045-316-5610 FAX : 045-324-0426

E-mail : info@kanagawa-id.org